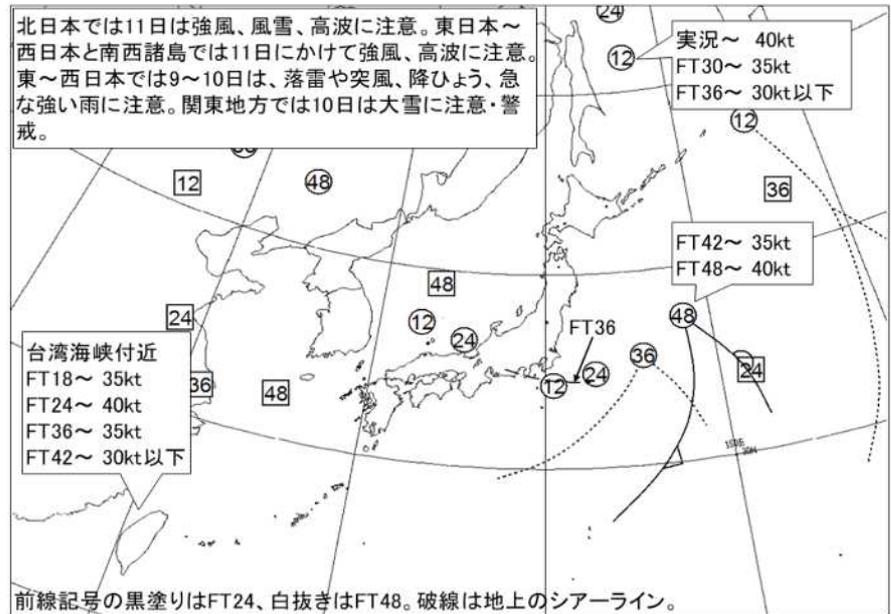


1. 実況上の着目点

- ① オホーツク海には発達した低気圧があって北上している。大陸には高気圧があって、オホーツク海の低気圧との間で気圧の傾きが大きくなっており、日本海ではやや強い風が吹いて、北陸地方では波のやや高い所がある。
- ② ①の高気圧の南の縁となる南西諸島では、吹送距離の長い北～北東の風により波がやや高くなっている所がある。
- ③ 中国東北区～朝鮮半島付近の500hPa 5400mには -30°C 以下の寒気を伴ったトラフがあって南東進。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は北上し、次第に日本から離れるため、北陸地方のやや高い波は、次第におさまるが、9日朝まで高波に注意。
- ② 1項①の大陸の高気圧は、次第に南へ移動し、10日朝には華中付近に中心を移す。引き続き、南西諸島では、この高気圧の南縁となり、北寄りの強い風が吹いて、波の高くなる所がある。南西諸島では、10日にかけて強風、高波に注意。
- ③ 1項③の寒気を伴ったトラフが、9日夜～10日にかけて日本付近を通過する。寒気を伴ったトラフの影響で大気の状態が不安定となる所があるため、東～西日本では9日昼過ぎ～10日にかけて、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。
- ④ 2項③のトラフの通過に伴い、日本海西部と伊豆諸島付近の気圧の谷の部分に、9日朝までに低気圧が発生し、東進する。日本海西部の低気圧は、10日朝までに北陸地方へ進み不明瞭になるが、伊豆諸島付近の低気圧は、10日には前線を伴って日本の東を発達しながら北東～北へ進む。日本海や伊豆諸島付近の低気圧の影響で、東日本～西日本では10日～11日にかけて、北日本では11日は、強い風が吹いて、波の高くなる所やしける所がある。強風、風雪、高波に注意。
- ⑤ 10日朝には、東日本太平洋側に地上シアーラインが顕在化する。シアーライン周辺では降雪の強まる所がある。関東地方では10日は大雪に注意・警戒。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- 4. 防災関連事項【量的予報等】** ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 降雪量(06時からの24時間)：東北15、関東甲信5cm。③ 波浪(明日まで)：関東・伊豆諸島・小笠原諸島・近畿・沖縄3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。